

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	入居者の平均介護度は90歳を超えている現状がある。高齢という中で、重度化や終末期が増加している。 本人の状態、家族の状況を聞き入れながら、一人ひとりが安心して最後の時間を過ごせる場所を提供していく必要がある。	家族がいろいろな事を相談しやすい場や、日頃からの関係性を大切にする。	面会時は、本人の生活の様子を伝えていく。 カンファレンスの場を作り、話を聞く時間やいろいろな選択できる情報を伝えていく。	6ヶ月
2	52	思いでのタベストリー、情報提供の書類等の掲示が行われているが長期化となっている。	定期的な環境整備を行う。 四季を感じられるようなしつらえを行う。	掲示物は定期的に見直し、はりかえを行う。 季節感のある環境作り。	3ヶ月
3	4	コロナ禍において、これまでの日常生活ができなくなったり、人との関係が閉ざされてしまっている現状がある。	家族や地域に日常生活等情報を新聞や写真等で発信して家族や地域とのつながりを大切にする。	今、出来る事を考えていく。 生活状況・本人の言葉を個別に伝える。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。